

# 地域女性活躍応援事業【山形県】

総事業費	463 千円
交付金額	231 千円

### 地域の実情と課題

- ・最上地域では、女性活躍の意識醸成や、職場における女性の能力活用が求められているため、職場における女性の活躍やワークライフバランスを促す取組みが必要である。
- ・置賜地域では、女性の生き方に関する情報提供が求められており、地域において女性が個性や能力を発揮し、長く活躍できる環境づくりが必要である。
- ・庄内地域では、家庭生活・仕事・地域活動のバランスが取れていると思う人の割合が県内4地域で最も低く、今後は、企業や女性の女性活躍やワーク・ライフ・バランスに関する意識改革が必要である。

### 事業の効果

- ・参加者からは「今後の自分の経営に非常に役立つ内容だった」などの感想があり、経営者層や管理職等の意識醸成につなげることができた。
- ・参加者からは「働き方や生き方には様々な形があるということを学ぶことができた」「自分のやりたいことを考えながらライフプランを立ててみて、将来への漠然とした不安が減った」などの感想が寄せられ、働く女性の意識向上につなげることができた。
- ・記事閲覧者アンケートでは、「皆さんの取組みや様々な経緯も端的にまとめられていて読みやすかった」などの声があり、情報を効率的に発信することができた。

### 目的・目標

【最上地域】  
 ≪目標≫参加者数20名 ≪実績≫参加者数25名

【置賜地域】  
 ≪目標≫参加者数20名 満足度80%以上  
 ≪実績≫参加者数19名 満足度100%

【庄内地域】  
 ≪目標≫1記事平均200アクセス  
 ≪実績≫1記事平均401アクセス(R5.2.21時点)

### 事業の特徴

各地域において各々の課題を把握し、課題解消に向けた事業を実施した。

### 連携団体

- ・域内市町村等

### 今後の課題

- ・継続して研修会等を開催することで、更なる意識啓発を図っていく必要がある。
- ・置賜地域はほかの地域に比べ、女性の生き方に関する情報提供を求める声が多いため、今後も心身の健康やライフプランの重要性を伝えるセミナー等の開催が必要。
- ・他地域に比べワーク・ライフ・バランスに関する取組が遅れているため、継続して事業を周知し、ワーク・ライフ・バランスや女性活躍を推進していくことが必要。

# 事業の概要

## 事業概要

人それぞれが地域社会の中で誇りを持って活躍することができるよう、最上地域の企業における女性活躍とワーク・ライフ・バランスを後押しするため、企業の管理者等を対象にした研修会を開催。

## 開催実績

### 企業における女性活躍とワーク・ライフ・バランス推進研修会 R4.12.1(木)

■ 対象: 最上地域の企業の管理者、人事労務担当者、行政機関担当者など

《講師》 高井 作 氏

(株式会社マイスター代表取締役会長)

《演題》 人それぞれが活躍を

～“働きがいのある人間らしい働き”を目指して～

## 事業目標・KPI

(目標) 参加者数: 20人 ⇒ (事業実績) 25人

## アンケート結果・参加者からの声

- ・「女性の視点が社会に変化をもたらす」という考えにとっても共感した。
- ・職務を越えたアドバイザーとなるブラザーシスター制の取り組みが印象的で、フォロー側の人材育成はどの所属でも必要と感じた。
- ・社員の方を大切にされていることが良く分かった。
- ・一つの企業の人材育成や地域貢献が、広く社会への貢献にもつながっていると感じた。

地域女性活躍応援事業  
人それぞれが活躍を  
～“働きがいのある人間らしい働き”を目指して～

Work  
ディセントワーク  
個性の尊重  
十分な収入  
きれいで清潔な職場  
Life  
健康  
家庭生活  
個人生活  
自己実現  
良好な人間関係

日時 令和4年12月1日(木)  
10:00～11:30  
参加方法 Zoomによるオンライン開催  
申込方法 下記QRコードまたはFAX  
対象 最上管内企業の管理者、管内福祉施設等、行政機関担当者など

株式会社マイスター  
代表取締役会長  
高井 作 氏

【参加時の注意事項】  
※原則にZoomをインストールしたパソコン、スマートフォン、タブレット等の端末をご準備ください。  
※参加料は無料ですが、データの送信料は参加者の自己負担となりますので、ご了承ください。

【お問い合わせ先】  
最上総合庁舎2階 女性活躍推進課  
TEL: 0233-29-1245 FAX: 0233-23-7635

# 事業の概要

## 事業概要

自らの人生設計を行う力を身につけることで、働く女性の意識向上や地元への定着を図るとともに、女性の就業環境の改善を促進するため、ライフプランセミナーをオンラインで開催。

## 開催実績

### 若年女性向けライフプランセミナー R4.12.4(日)

- 対象: 山形県にゆかりのある若年女性
- 講師: 季の実 -toki no mi- 庄司 あきこ 氏
- 内容 「20代からはじめる『マネー美人』わたしのライフプランセミナー」
  - ① ロールモデル紹介
  - ② “私”のライフプランを描いてみよう(ライフプラン作成)
  - ③ ライフプランの使い方

## 事業目標

- (目標①) 参加者数: 20人 ⇒ (事業実績) 19人
- (目標②) 参加者アンケートによる満足度: 80%以上 ⇒ (事業実績) 100%

## アンケート結果・参加者からの声

- ・働き方や生き方には様々な形があるということを学ぶことができました。
- ・自分のやりたいことを考えながらライフプランを立ててみて、将来への漠然とした不安が少し減りました。自分でも時間をとってライフプランを立ててみようと思います。
- ・お金の使い方を見直していきたいと思いました。

**20代からはじめる「マネー美人」わたしのライフプランセミナー**

新型コロナウイルス、物価高騰、年金問題…なにかと先行き不安な現代、自分のライフプランや、その実現に必要なお金について考え、将来への「なんとなく不安」を解消するヒントを見つけませんか? お金のプロと一緒にライフプランを作成してみましょう!

**参加無料**

**日時** 12月4日(日) 10:30~12:00  
**開催方法** Zoomを活用したオンライン開催  
**対象** 若年女性(20代のほか学生・ライフプランに興味のある方大歓迎!)  
\* 将来についてなんとなく不安を抱えている人  
\* お金について勉強するきっかけを探している人  
**講師** 庄司 あきこ 氏 ココロとカラダとお金のメイクバランス。 季の実 -toki no mi-  
プロフィール  
自身の経験から、誰やかに生きるには心と身体とお金のバランスが整っていることが大切という信念の下、セミナーや執筆、個別相談、FP資格取得講座講師などをこなしている。結婚や出産、恋愛、介護など外的要因で体調や経済状況に影響しやすい女性が自らが誰やかに生きていけるよう活動中。  
英学会の説明会山形新聞「なるほど新卒のはなし」に輪番で執筆中。 A.F.の認定者心療カウンセリング「産婦人科」ライター

10:30~10:50 ロールモデル紹介 多様な働き方 働くお母さんの生き方	10:50~11:35 “私”のライフプランを描いてみよう ライフプラン作成のキリットやポイント をお伝え、実際に作ってみよう	11:35~11:50 ライフプランの使い方 作っただけじゃ意味が無い 事を叶える活かし方
---	--	--

**【お申込・お問合わせ】**  
下記いずれかの方法でお申し込みください。 山形県産奨励給付金交付子ども家庭支援課  
①「山形e申請」より申込 TEL 0238-26-6027  
(右側QRコードから) FAX 0238-24-2016  
②裏面の申込用紙に記入し、FAXで申込 E-MAIL ysk@tamakodomo@pref.yamagata.jp  
★申込期限: 11月25日(金)★

主催: 山形県産奨励給付金交付保健福祉課 子ども家庭支援課

## 事業の概要

### 事業概要

ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組んでいる企業や、多様な働き方をしている女性について、子育て世代が多く閲覧するサイトに掲載するとともに、リーフレット等を活用して周知。

### 取材先

#### ■ワーク・ライフ・バランスに積極的に取り組む企業

##### ①株式会社プレステージ・インターナショナル

家庭と仕事を両立しやすい職場づくりに取り組む企業

##### ②楯の川酒造株式会社

ICT化、リモートワーク導入等により働きやすい環境づくりに取り組む企業

#### ■多様な働き方をしている女性

##### ③会社員と子育てを経験後、長年の夢であるたい焼き屋を開業した女性

取材にまつわるエピソードは

【庄内子育て情報サイト TOMONI】

でも紹介中！



### 事業目標

(目標) 記事閲覧数: 200件/1記事 ⇒ (事業実績) 記事①494件、②641件、③455件(R5.3.31時点)

### 事業の効果

- ・同じ庄内の企業の身近な事例であるため「ワガコ化」になり、具体的な取り組みであるため取り入れやすくアクションにつながる。
- ・子育て支援サイトで情報を発信することにより、妊娠・出産で働き方を変えようと思っている女性に情報を届けることが出来る。

企業でのワークライフバランスの実践や  
女性が自己実現できる働き方の意識醸成につながる